

No.194

令和3年2月  
定例会号  
2021年5月1日発行

## 2月定例会

37議案等を審議	2P
定例会議決結果	2P
令和3年度予算	3P
一般質問	7P
議員紹介	14P
改選後の初議会	16P

いるま

市議会

だより



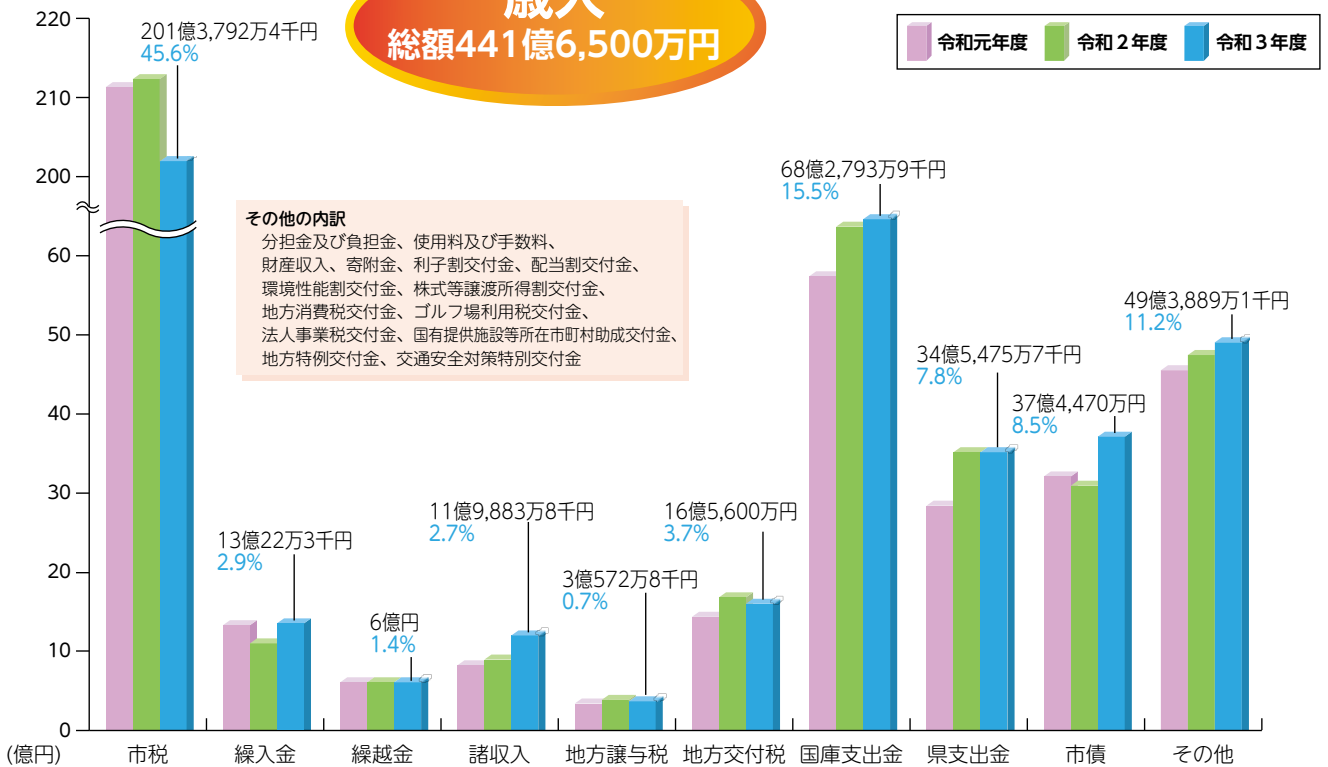


# 令和3年度予算の内容をチェック

自主財源243億687万6千円 (55.0%) 依存財源198億5,812万4千円 (45.0%)

市税負担額 市民1人あたり 13万6,838円  
1世帯あたり 30万2,753円

**歳入**  
総額441億6,500万円



## 令和3年度入間市特別会計予算一覧表

会計名	予算額	前年度比較増減率 (%)
国民健康保険特別会計	143億2,924万7千円	△1.0
後期高齢者医療特別会計	20億1,791万1千円	1.9
介護保険特別会計	117億4,266万2千円	4.7
武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業特別会計	1,200万円	△94.3
入間市駅北口土地区画整理事業特別会計	4億2,500万円	△12.5
扇台土地区画整理事業特別会計	4億4,680万円	△19.9
総額	289億5,750万円	0.2

# 一般会計 予算

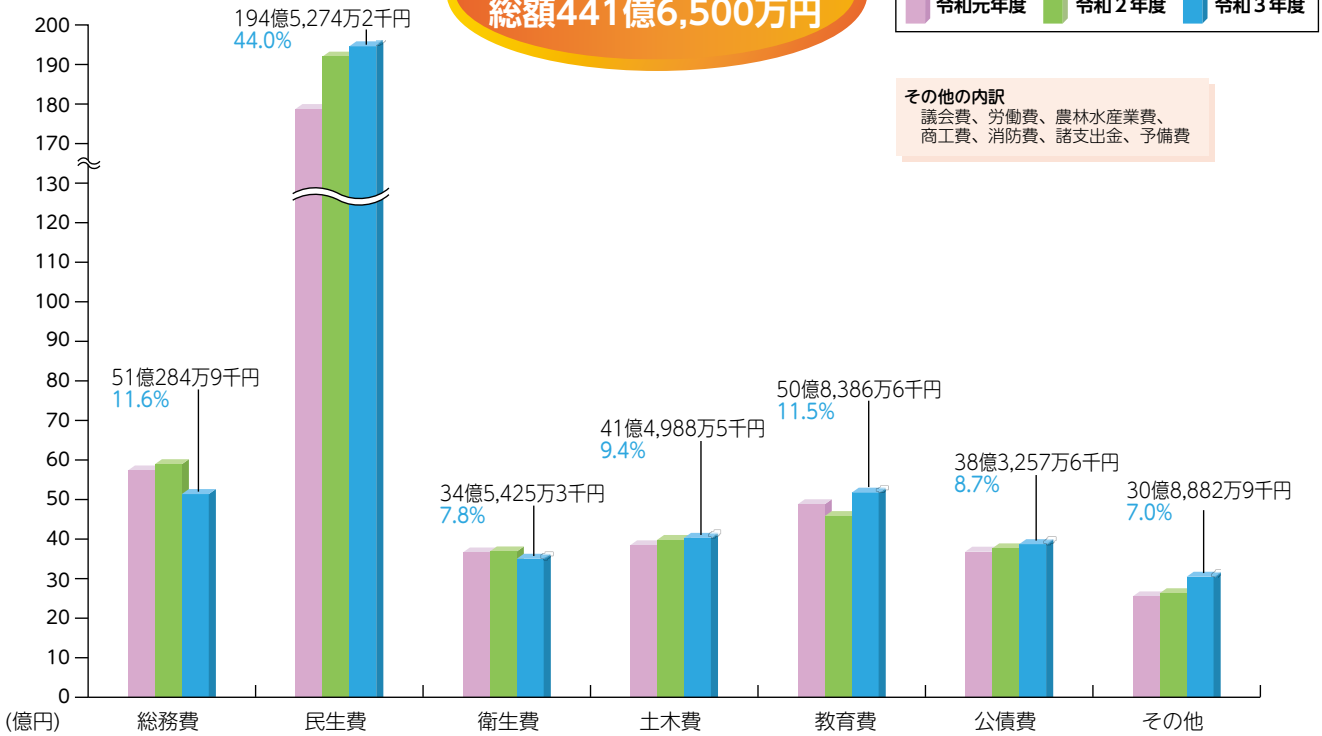
令和3年度の一般会計当初予算は、前年度対比0.5%増となり、市長から施政方針として、以下の趣旨の提案理由が説明されました。

歳入面においては感染症拡大の影響を反映して市税収入や各種交付金について減額が見込まれる中で、安定した市民生活の維持に必要な施策、事業を確実に実施するために、市債の活用とともに財政調整基金からの繰入れを行うことで不足する財源の調整を図りました。また、歳出面においては投資的経費について切り詰めつつ、市民サービスの低下を招かないように最大限配慮し、改めて必要性、緊急性、優先性などを考慮して経費の調整を図りました。

令和3年1月1日現在 人口147,166人 世帯数66,516世帯

市民1人あたり 30万103円  
1世帯あたり 66万3,976円

## 歳出 総額441億6,500万円



その他の内訳  
議会費、労働費、農林水産業費、  
商工費、消防費、諸支出金、予備費

### 総務費

#### 市役所整備事業

1,105万7千円

事業概要(要約)  
専門知識や経験を持つ外部のコンサルタント会社(アドバイザー)にアドバイスを受ける。

### 民生費

#### 公立保育所整備事業

1,934万6千円

事業概要(要約)  
老朽化した公立保育所の施設整備を行い、保育の充実を図るもの。

#### プレーカー整備事業

218万2千円

事業概要(要約)  
市内の様々な場所で子供の遊ぶ環境を確保し、遊びを通じた活動を促進するため、遊び道具を積載する車両(プレーカー)を整備するもの。

### 教育費

#### 地区体育館等改修事業

2億2,348万7千円

事業概要(要約)  
地区体育館5館と武道館等の長寿命化及び非構造部材の耐震補強を図るための改修工事と、それに伴う実施設計業務の実施。

#### 文化財保存活用基金積立金

10万1千円

事業概要(要約)  
西洋館・旧黒須銀行等の文化財の保護を推進するため、文化財の保存及び活用の財源に充てるための基金を設置して運用。

※一般会計予算の概要より  
(千円以下四捨五入)



# 討 論

## 一般会計・特別会計

令和3年度一般会計・特別会計の予算について賛成・反対の討論をしました。各会派の討論の概要を報告します。

討論の詳しい内容は、市ホームページの「会議録検索」ページでご覧いただけます。(本定例会の会議録は次回定例会開会までに掲載する予定です)

### 賛成

#### 一般会計討論

令和3年度一般会計当初予算案の総額は441億6,500万円。そのうち、歳入の根幹である市税収入が前年度対比で11億7,470万2千円の減額となり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を反映している。歳出は社会保障関連経費が引き続き増額だが、行政水準を維持し、市民生活に直結する施策は、適切に計上されている。近年にない非常に厳しい財政運営と推察されるが、杉島市長のリーダーシップの下、誰一人取り残さない持続可能な入間市を実現するためのスタートの年として各施策の推進が図られるよう期待し、賛成の討論とする。

### 自由民主党入間市議団

### 反対

#### 一般会計討論

入間市民の平均所得はこの10年で約40万円減少した。自治体が、消費税増税などで市民を苦しめる国の悪政の防波堤となるべきである。公共施設マネジメントと市庁舎整備計画は、市民の疑問が残っており、一旦立ち止まるべき。行政改革第一期計画に基づいて、住民サービスの削減が行われている。学童保育室は、市の直営を守るべき。教員の多忙化解消のための少人数学級実現に、学校統廃合は逆行する。特定地域工業設置事業は、効果の検証が不十分である。空き店舗活用事業は、件数が少なく店舗のリフォーム助成などが必要である。

### 日本共産党入間市議団

### 賛成

#### 一般会計討論

公明党市議団の提案が実現した3点を評価。①宮寺保育所と二本木保育所の統合・改築に向けた用地購入費の計上。今後開設までの期間短縮を要望。②老朽化した藤沢北学童保育室の待機児童解消に向け、学校敷地内移転工事費の計上。③3歳児健診用に精密検査可能な屈折検査機器の購入。コロナ禍での市政運営として、従来からの前例主義を排し費用対効果を尊重しつつも、市民の暮らしを守るために暮らしに寄り添った丁寧な対応が今こそ必要。市職員全員が全力を挙げて市民の健康と暮らしを支えて頂くよう要望し賛成する。

### 公明党入間市議団

### 賛成

#### 一般会計討論

歳入では、市税が新型コロナウイルス感染症の影響で減額。各種交付金も、影響を受け減額が見込まれる。歳出では、地区体育館等改修工事を初め、市民にとっては緊急等を考慮し、事業の重点化を図った予算であると伺える。感染症の影響もあり厳しい財政状況だが、事業の継続・推進を図る一方、新規施策を展開している事を評価できる。杉島市長のリーダーシップの下、コロナ禍であっても安全・安心な施設整備の推進将来を見据え、必要な予算の適切な配分・各事業の計画的な施行に期待し賛成。

### 無所属の会

### 賛成

#### 一般会計討論

歳入は、前年度対比で、市税が5.5%11億7,470万2千円の減。財政調整基金からの繰入れは2億2,000万円の増、臨時財政対策債は4億円の増。財政健全化にほど遠いが、コロナ禍においてやむを得ない。歳出については、限られた財源の調整において、投資的経費は市民の安全・安心に資する事業を中心に推進、経常的経費は、子ども・子育て支援のさらなる充実に配属。感染症の対応、公共施設マネジメントの推進、財源確保のための行政改革の三つの課題に、杉島市長のリーダーシップの下、適切な対応が図られることを期待。

### 市民フォーラム

## 反対

### 日本共産党入間市議団

#### 特別会計討論

(国民健康保険特別会計)

予算概要にもあるように、国民健康保険制度は「年齢構成が高く医療費水準が高い」「所得水準が低く保険税の負担が重い」などの課題を抱えている。国保料が家計を圧迫し受診を我慢する本末転倒の事態も頻発している。国庫支出金割合は1984年度には49.8%であったものが、2016年度には20%まで下がっている。入間市においては、令和3年度の税率改定は国保広域化後の動向、感染症による社会的影響を踏まえ見送られ、財源不足については国民健康保険財政調整基金より3億2,022万6千円が繰入れられたことに対して一定の評価をするものであるが、全国で手遅れ死亡事例が毎年多発していることや、新型コロナの市民への甚大な影響を考慮するならば、一般会計からのさらなる繰入れ、国による1兆円の国庫支出が必要である。以上で反対とする。



入間市マスコットキャラクター  
「いるティー」

## 賛成

### 自由民主党入間市議団

#### 特別会計討論

(国民健康保険特別会計)

国保の安定的な財政運営等が広域化により実施され、令和3年度は4年目を迎える。総額で143億2,924万7千円と、前年度予算と比べ1.0%の減で、その要因は、後期高齢者医療制度への移行による国保加入者の減少であると認識する。また、国民健康保険財政調整基金から3億2,022万6千円の繰入れは国保財政の安定化を図り、市民の税負担への配慮があったものと認識する。歳出のその大部分を占める保険給付費は、高齢化の進展から一人当たりの医療費は増加し、加入者の減少から前年度に比べ1.6%の減額。また、県が支払う医療費に対し市の負担の国民健康保険事業費納付金は、前年度に比べ1.4%の増額で、厳しい状況である。今後は、県と連携を図り、医療費削減に向けた保健事業を展開し、税負担の公平に配慮しながら安定した事業運営を要望し、賛成。

## 賛成

### 公明党入間市議団

#### 特別会計討論

(国民健康保険特別会計)

歳出について、一人当たりの保険給付費の増額傾向には注視が必要。

①7年前から進めてきた「国税額計算方式を従来の4方式から資産割と平等割のない2方式に段階的移行」が、未完了。移行完了に向けた計画策定を要望。

②新型コロナに感染または濃厚接触者となり休業される方への傷病手当金支給制度への認知度向上のため、新たな手法による周知徹底を要望。

他の健康保険制度より負担が重いとされている国保税は、軽減制度のある低所得者より中所得者以上の方の負担が非常に重くなっているため、負担軽減が急務。

今後も、保険税の収納率の向上、保健予防事業の推進、ジェネリック医薬品の利用促進等、制度の健全化と医療費増の抑制に向けた努力をお願いし、賛成とする。

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



## ヤングケアラーの支援 推進を

坂本 優子 議員

**質問** 18歳未満でありながら、大人が行うような介護やケアを行っているヤングケアラーの課題をどのように捉えているか。

**市長** まず、市民周知・理解が進んでいないこと。ヤングケアラーとなることも達は家事や家族の介護などが当たり前になっており、特に幼少期には、お手伝いとケアラーの違いがわからない・ケアラーの認識がない・家族から口止めをされるケースもある。幼少期以降も自身が抱える困難を隠し、気づかれぬように声をあげないケースもある。ヤングケアラーを経験したことも達が大人になってからも自分自身の希望、生活・人生を取り戻すことが必要である。ケアラーに関わる行政の対応が縦割りであるなど様々な視点が考えられる。

**質問** 支援に対する今後の展望は。

**市長** ヤングケアラーを含むケアラーの支援に向け、「入間市ケアラー支援条例」の制定を検討する。ヤングケアラーへは、早期に介入し、孤立させずに適切な教育の機会を確保することが必要と考えており、特に重点を置いていく。条例制定により、ヤングケアラー支援の必要性を推進し、誰一人取り残さない全ての子ども、若者が健やかに心豊かに成長できる社会を目指す。支援に向け、令和3年度までに着手する。



子どもの悩み相談案内パンフレット



## コロナ禍でも姉妹友好 都市交流を

古仲 リカ 議員

**質問** 英語教育・グローバル教育の取組と姉妹友好都市の子ども達と英語で会話ができるオンラインでの交流について伺う。

**教育長** AET13名を雇用し市内小・中学校に最低週1日以上配置、小学校英語専科教員2名を増員、小学校5校へ配置し専門的な教育を実施、グローバルな視点と感覚を身につける教育を行い「ふるさと入間を愛する心」の教育も進めている。子ども達の姉妹友好都市との交流は魅力ある事業であり関係課と連携し実施へ向け研究していく。

**質問** 姉妹友好都市交流の今後の予定は。

**市民生活部長** 2月8・15日にヴォルフラーツハウゼンランチパッケージを数量限定販売。3月10日を「入間さどの日」とし佐渡市の新鮮な魚介類を市内百貨店にて販売。

**質問** 加治丘陵さとやま自然公園の計画状況と農村環境改善センターからバス停への案内表示設置や加治丘陵マップの改善を。

**都市整備部長** 令和3年度未完了を目指し「花見の丘」を整備中。関係課と連携し案内表示や加治丘陵マップの改善を検討。

**質問** 小・中学校の学用品販売店をいつでも調べられるよう市や学校HPへの掲載を。

**教育部長** 市教育委員会が学校へ販売店を学校HPへの掲載や学年だより等を通じて公表するよう依頼を検討している。



入間市国際交流協会と共催した「ヴォルフラーツハウゼンランチパッケージ」





## マイナンバーカードの普及促進を

末次 正 議員

- ・ **質問** 座間市では、広告入りフロアマットの採用でフロアマットに係るコストを削減。入間市も採用すべきでは。
- ・ **企画部長** スポンサー企業の参入意欲が低下している状況だが、検討は進める。
- ・ **質問** 広告掲載を可能とするために、今後、マットは規格品を採用すべき。見解は。
- ・ **企画部長** 交換時に検討課題とする。
- ・ **質問** マイナンバーカード申請は、「申請時来庁方式」で行うべき。見解を問う。
- ・ **市民生活部長** 来年度の実施を目指す。
- ・ **質問** 各支所での交付を行うべきでは。
- ・ **市民生活部長** 窓口の拡張等整備が必要。
- ・ **質問** 市独自の普及促進策が必要では。
- ・ **市長** 利便性、コストを検証し検討する。
- ・ **質問** 「脱ハンコ」の取り組みの進捗は。

**総務部長** 押印見直しの検討を開始した。  
**質問** データ改ざんや成りすましを防止するために、トラストサービスを採用した、データ管理の基盤構築が必要では。

**市長** 今後、法整備が必要ではあるが、トラストサービスは行政のデジタル化を進めるために、必須になるものと考えてる。

**質問** 「デジタル未来都市推進部門」でのトラストサービス導入スケジュールは。

**市長** 令和3年度で外部人材を登用し、導入を視野に入れた準備を進める。



トラストサービス（電子認証）は、データ管理の安全安心の基盤



## 「ゾーン30」・自治会活動の現状

内村 忠久 議員

- ・ **質問** 入間市におけるゾーン30について①ゾーン30の指定状況②指定した地域と効果③今後の取り組み方針について。
- ・ **市民生活部長** ①速度抑制や、抜け道として通行車両の削減等を図り、交通量、事故発生状況、通学路等を基準に指定される。②警察からゾーン30内における安全対策、自動車の通過速度の抑制効果が認められる。③地域の実情に合わせて、効果的な整備を進めていく。
- ・ **質問** ゾーン30の地域を拡大する考えは。
- ・ **市民生活部長** 効果的な区域であるか狭山警察署との協議が必要となり総合的に判断して進めていく考えである。
- ・ **質問** ゾーン30の周知、啓発の取り組みは。
- ・ **市民生活部長** HP・広報紙等で行う。

**質問** 自治会活動の必要性について。

**市民生活部長** より良い協働関係を構築し複雑化、多様化する地域課題に取り組むことが大事である。

**質問** 自治会に対する市長の考え方は。

**市長** 市政を進めるうえで重要なパートナーであり、自治会が元気であるために、市としても今後とも様々な形で支援をしていかなければならないと考えている。

【その他】 公約を具現化する為に必要と考える組織体制の再編について。



新たに指定された久保稲荷区域の「ゾーン30」の整備



※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



## 市役所整備 市民に開かれた施設

野口 哲次 議員

- **質問** 市役所整備基本方針の第一に「市民に親しまれる開かれた施設」を掲げている。他の自治体の例を見ると、「憩いの場」「打ち合わせの場」「イベントができる場」を揃えていることが多い。入間市でもこの3つを実現しては。
- **市長** 市民が来たくなる市役所を目指している。
- **質問** 新たな市役所の床面積は約2割削減する計画。十分なスペースを確保できない。民間事業者への貸付けが検討されている市役所A・B棟跡地に「市民に開かれた施設」をつくっては。
- **市長** それを含めて検討していきたい。
- **質問** 市民会館を20年間使用する耐震改修に約17億円、快適性を図るのに約6億

円かかる。ランニングコストも割高になる。20年後に建て替えるのに今の見込みで40億円。それらのコストを費やすことが妥当か。

**市長** 初期費用、ランニングコストを精査し判断する。

**質問** 移転新設、広域連携は10年といった期間では無理。複合化は考えないとしている。耐震改修に代わる選択肢があるのか。

**市長** 移転新設、広域連携の可能性がないという理由が分からない。

【その他】 コロナ禍の子育て・困窮支援



「市民に開かれた施設」のイメージ  
(御殿場市民交流センターふじざくら)



## eスポーツ振興・図書館 SDGs 企画

向口 文恵 議員

- **質問** 近年、コンピューターゲームの対戦である「eスポーツ」が賑わいを産む地域振興の一環として注目されている。ゲームの枠を超え、2022年のアジア大会では公式種目として決定。市場規模も一気に前年度比13倍に拡大したとの統計もある。eスポーツに対する市のかかわり方は。
- **市長** 誰もが参加でき、コミュニケーションのツールにもなるメリットの一方、身体的、法的な課題も指摘される。今後は国や自治体、民間企業の動向や社会情勢、状況等を見ながら研究を進める。
- **質問** 性別、場所、障がいを持つ方、高齢者や子どもなど、誰もが楽しめるバリアフリーなスポーツとして市民の参加が期待できる。市での取り組みの展開は。

**市長** 高齢者の認知機能の向上につながる研究もあり、また障がい者が容易に参加できるメリットもある。総合的に研究する。

**質問** 国連加盟国が取り組むSDGsの達成は市として積極的に取り組む課題だが、具体的に理解は深まっていない。さらに認知度を高めるために市立図書館や小・中学校で企画展示の実施ができないか。

**教育長** 図書館指定管理者と連携し、企画展示や図書紹介など実施していく。

【その他】 ドライブレコーダーの見守り



富山県高岡市で開催されたeスポーツのイベントの様子



## 小中学生追加給食費の負担軽減を

永澤 美恵子 議員

**質問** 12・1月に先夏の授業追加による中学校給食費の穴埋めの為、例月の倍額を急ぎよ請求したことで引き落とし不可のご家庭が多発。コロナ禍の経済支援対策と逆行する対応は看過できない。①認識は。②再度の引き落とし不可の場合生徒に持たせる現金徴収は問題。徴収方法の変更を。

**教育部長** ①配慮不足。②今後検討する。

**質問** 子育て支援として国の臨時交付金を活用し、追加徴収した給食費の還付を。

**市長** 実費分請求の為、還付は困難。

**質問** コロナ禍で就学援助制度の対象となった家計急変世帯の調査・周知徹底を。

**市長** 今後、制度の周知徹底を図る。

**質問** 宮寺・二本木地区は地区センターを宮寺支所に統一し、二本木公民館は子育て

て支援施設とする計画。二本木地区は、過去の分村問題などの様々な歴史的背景から、体育協会など独立した組織が存在しており、二本木公民館を中心に強固なコミュニティが形成されているとの認識は。

**企画部長** 複雑な歴史があるとの認識。

**質問** 地域コミュニティを壊さないよう二本木公民館を宮寺地区センターの分館として、センター機能を継続すべきでは。

**企画部長** 今後、地域と調整しながら検討していく。



二本木狭山台地域コミュニティの拠点「二本木公民館」



## 藤沢区画整理事業の清算金問題

金澤 秀信 議員

**質問** 武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業地内の住民は1件数百万円級の清算金を請求され怒りと悲鳴が多発。清算金の徴収(全体で600件計11億円)について①もっと早く金額を提示すべきでは②国の特例を適用し、最大10年間までの分割期間延長を③金額に応じた分割払いではなく、支払い能力に応じた期間・回数を④所沢市などが採用している超低金利(0.002%)の適用を

**都市整備部長** ①早く示せば良かったが試算だけでも経費が掛かる②ご提案はもっともなこと。10年間の長期分割に対応③支払い能力に応じた分割期間に丁寧に対応

**市長** ④超低金利への変更はしない

**質問** 小中学生に貸与されたタブレット破損時の保護者負担を求める方針の転換を

**教育長** 議員のご指摘を受け、原則保護者負担は求めないよう方針を変更する。

**質問** 市内に多数ある私道のうち、通り抜け私道の水道管は市の負担で交換工事なのに、行き止まり私道の交換費用は、住民負担。世帯あたり数十万円以上となる水道管交換工事費の負担の格差解消を。

**市長** 行き止まり私道の水道管交換工事費用も市の負担とするよう検討する。

【その他】子どもの国保税均等割分の半額減免を

徴収清算金 金額別階層分布一覧

金額別階層	単位：件		
	武蔵藤沢駅周辺	狭山台	野田
～ 50万円以下	170	22	105
50万円超 ～ 100万円以下	140	10	19
100万円超 ～ 200万円以下	160	14	8
200万円超 ～ 300万円以下	60	11	5
300万円超	70	18	2
計	600	75	139

※武蔵藤沢駅周辺は概算数であり、確定ではありません。

武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業と、過去の入間市の同事業との清算金の比較

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



## センター化見直し・ 内視鏡検査へ

安道 佳子 議員

- **質問** 令和4年度、13カ所にある公民館を9カ所に集約し地区センターに改編する計画。市民意見を計画に反映すべきでは。
- **市長** 令和2年7～9月関係団体に説明。意見聴取の内容を素案に反映し議会や関係団体に説明後、整備計画を公表したい。
- **質問** 地区センターは、6機能を備えた施設とあるが、職員配置はどうか。
- **市長** 現状の公民館の職員配置を上回らない職員配置にしたい。
- **質問** 公民館や支所機能、福祉相談窓口や自治振興等6機能を現状の職員で担えるのか。職員組合の合意は得られたのか。
- **市長** 職員組合とは調整中である。
- **質問** コロナ禍で地区センター化を急がず、計画は見直すべきでは。



## 市役所建て替え計画 について

佐藤 匡 議員

- **質問** 優先交渉権者の(株)日本総合研究所について。PFIアドバイザー業務の元請けとしての業務実績は。
- **総務部長** 他市での実績は京都市伏見区総合庁舎整備等事業アドバイザー業務、札幌市中央区複合庁舎整備事業PFIアドバイザー業務がある。この他にも多数の実績がある。
- **質問** 審査の配点結果を公表すべき。
- **総務部長** 事業者の地位、正当な利益を害する恐れがあり、公表できない。総合合計点は公表している。
- **質問** 防災機能について検討を委託することになるが、本来、市民と共に防災体制を築いていくものではないか。防災マニュアルを委託するということは、たとえマニ

**市長** 市庁舎整備と連動して地区センター事業を計画通り進めていきたい。

**質問** 胃がん検診に内視鏡検査の導入を求めてきたが、導入に向けた検討は。

**健康推進部長** 令和3年度から導入したい。市内10カ所の医療機関で内視鏡検診を実施の方向で準備をすすめている。

**質問** 豊岡第一病院そばの踏切拡幅事業の進捗状況はどうか。

**都市整備部長** 令和4年、市道幹2号線拡幅用地取得後踏切拡幅工事に着手する。



豊岡第一病院そばの「武蔵藤沢第4号踏切」の状況

ュアルが提示されたとしても形式にとどまり、市民自ら防災について考え、命と暮らしを守る防災体制を作るのに比べたら、何倍も遠回りすることになるのではないか。

**総務部長** 様々な意見を伺いながら良いものを作り上げていきたいと考えている。

**質問** PFIによる市庁舎の建て替えよりも市民の命と暮らしを守ることが先決。建て替えは中止し耐震化に方向転換を求める。

**市長** よりいっそう、しっかりと説明し、理解をいただき、その努力をしていく。



梅の花と市役所





## 新型コロナウイルス 感染症対策

松本 義明 議員

**質問** コロナ禍での生活も1年になる。地域でいただく様々な意見をお伝えし、対応していただいている。まもなくはじまる新型コロナウイルスワクチン接種に向けては、体制の早急な構築、医師会との連携が大切であると考えている。危機管理局面における対策の事前準備の徹底の状況はどうか。

**市長** 健康福祉センターにワクチン接種担当を新たに設置する。医師会のご協力をいただき、すべての希望者に速やかに接種していただけるよう体制を整備する。

**質問** コロナ禍での学校教育の状況は。  
**教育長** 「授業を進めることのみが学校教育ではない」との考えから、コロナ禍であっても人間形成・社会性形成のために必要な行事は可能な限り工夫し実施している。

**質問** タブレット端末の活用状況、更なる有効活用に向けた取り組みは。

**教育長** 活用計画を策定し、授業の中でよりよく活用する方法を研究する。

**質問** これからの入間市の教育の考えは。

**教育長** 自ら考え、自ら行動できる子どもを育てることが何よりも大切である。子どもたちで課題解決できる授業を展開する。  
【その他】 副市長に「民間活力の活用」、「職員マネジメント」、「今後の市政運営の課題と対応策」について質問した。



タブレット端末を使用した授業



## 結婚支援・AIを活用 した受診勧奨

細田 智也 議員

**質問** 「SAITAMA 出会いサポートセンター」に登録されている、入間市の企業数は。

**企画部長** 市内の企業については、1社が企業等会員として登録されている。

**質問** 結婚支援事業実施に伴う課題。

**企画部長** 市独自で事業を展開することには限界があり、協定に基づいた事業を強化していく等、民間のノウハウを積極的に取り入れて事業を進めていく。

**質問** 特定健診の受診率向上に向けた取り組み。

**健康推進部長** 入間市工業会及び入間市商工会会員へ勧奨チラシの配布。又、駅やスーパー、郵便局等にポスター掲示、担当課だけでなく関係部署の協力等で直接受診の働きかけを行っている。

**質問** AIを活用した特定健診の受診勧奨の検討を。

**健康推進部長** 県から市町村に対して参加の有無についての照会があり、入間市は参加希望で提出した。今後、この県の取組や先進事例の状況を参考に研究していく。

**質問** コミュニケーション支援ボードの導入・活用を。

**福祉部長** 導入している自治体があることは認識している。幅広く効果的に活用できるよう関係課と協議しながら研究する。



コミュニケーション支援ボード

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています。



## 文化創造アトリエ 自転車の利活用

宮岡 治郎 議員

- **質問** 『入間市文化創造アトリエ』について。(1)創設から20周年を迎えるが、設立の事情や、開設からの沿革は。(2)埼玉県織維工業試験場と織物組合の、歴史研究は。
- **市民生活部長** (1)組合の用地寄付の経緯もあり、県織維試験場跡を無償で移管を受けて開設。音楽・演劇等の練習・発表等の場で、市民参画はNPOに引き継がれる。
- **教育部長** (2)建物と組合の記録調査を実施し、機材・文書類等の資料2千件余りは収集し、整理を完了。研究に活用している。
- **質問** 自転車を取巻く環境について。(1)安全走行と、道路整備の状況は。(2)生活手段としての使用実態は。(3)利用・活用による、「まちづくり」についてのお考えは。
- **都市整備部長** (1)道路交通法では自転車

は車両扱いで、通行帯は設置されていない。安全に走行出来る道路環境づくりに努める。

**市民生活部長** (2)年間の新規購入は1万台前後で、日常生活用が約8割。利用目的は、買物、通勤・通学の順に多い。各駅周辺の放置自転車数は、数台程度にまで減少。

**市長** (3)個人的な移動手段で、環境負荷を軽減させる。有酸素運動で自然と運動量を増やし、運動不足を解消し、市民の心身の健康にも貢献する。自転車まちづくり条例の制定、活用推進計画の策定を進めたい。



『入間市文化創造アトリエ』（愛称アミーゴ）。のこぎり屋根が連なるホール。



## PCR検査・社会的検査 への補助を

小出 亘 議員

- **質問** 秩父市は、65歳以上や糖尿病などの基礎疾患を治療中の市民へ、希望する場合にPCR検査と抗原検査の検査費を助成する制度を始める。PCR検査は2万円、抗原検査は7,500円が上限で、超えた分は自己負担。11月2日から3月31日までで、事業費400万円。入間市としてPCR検査への独自補助実施する考えは。
- **健康推進部長** 近隣市の状況を見て必要に応じて検討する。
- **質問** 越谷市は、無償でPCR検査を実施すると発表した。対象は特別養護老人ホームやグループホームなど市内88施設に入所予定があり、検査を希望する人。最大1,150人の受検を想定している。三芳町は11月から、サークル活動など身近な場でコロナ感


染者や風邪症状の人が発生した65歳以上の希望者らに、無料でPCR検査を実施する。施設に限らず自治会やサークル活動、体育館、公民館、飲食店などの生活の場に対象範囲を広げ、風邪症状の人が発生した場合も含めた。入間市でも介護施設等での社会的検査を実施する必要があるのではないかと考えるが、県による検査が行われる予定なので市で実施する考えはない。

【その他】国民健康保険事業、防災行政



秩父市のPCR検査キット  
(秩父市HPより)

～凡例～

抱  写真

会派名・(※) 氏名 住所 氏名 住所 氏名 住所  
負 電話番号

※( )の内数字は当選回数



日本共産党入間市議団 (4)  
**小出 亘**  
仏子1170-4  
☎2932-7884

市民の命・暮らし・平和を守る市政実現をめざし、皆さんの声・願いを市政に届けます。



日本共産党入間市議団 (5)  
**安道 佳子**  
久保稲荷4-4-18  
☎2962-8082

皆さんの願いを市政に届け、暮らし・福祉・平和第一の入間市をつくるために全力をあげてまいります。



日本共産党入間市議団 (2)  
**佐藤 匡**  
上藤沢305-21  
☎2965-3907

よく歩き、よく会話し、入間市を子供から大人まで明るく元気で、安全で安心して暮らせる街にしたい。



公明党入間市議団 (3)  
**末次 正**  
南峯258-2  
☎2936-0869

この4年間を「一人の声を市政に届ける」ことに徹し、一日一日を全力で走り抜いてまいります。



公明党入間市議団 (4)  
**向口 文恵**  
上藤沢406-14  
☎2965-0170

皆様の健康と暮らしを守り、「誰ひとり取り残さない入間市」の実現に、全力で取り組んでまいります。



自由民主党入間市議団 (1)  
**池田 司**  
上藤沢548-17  
☎2008-3545

子どもたちの未来のために何ができるかを第一に、子育て世代が暮らしやすい街づくりを目指します。



自由民主党入間市議団 (1)  
**吉田 賢一**  
小谷田5-5  
☎2006-0509

身近な存在で市民の声を聞き、働きしやすく、若い世代が自慢できるような街づくりを目指します。



自由民主党入間市議団 (1)  
**大野 勉**  
新久766  
☎2930-8363

市民と行政の協働のまちづくりを進め、誰もが住んで良かった、住み続けたいと思えるまちを目指します。



自由民主党入間市議団 (1)  
**双木 小百合**  
南峯400-4  
☎2936-4104

皆の持ち前と経験を繋ぎ気軽に頼まれて誰かにお返しする仕組で地元から入間の教育向上と経済活性化を。



無所属の会 (2)  
**細田 智也**  
新光306-888  
☎2932-2881

小さな声にも耳を傾け、市政に届け「違いを認め合い互いを尊重できる人間」を目指します。



公明党入間市議団 (5)  
**金澤 秀信**  
東藤沢4-7-3  
☎2965-8587

市民の小さな声を大きく実現し、「一人の声が市政に届く」と納得・実感して頂ける政治を目指します。



# 員 介

聞いてみました!



# 議紹

これからの抱負!



公明党入間市議団 (5)

永澤 美恵子

二本木518-4

☎2934-4687

コロナ禍の中「誰ひとり取り残さない希望の社会」を目指して、心新たに働いてまいります。



自由民主党入間市議団(2)

長谷川 渉

宮寺2322-9

☎2934-5060

未来に挑戦！市民の皆様とともに、住んでいて良かったと、思えるまちづくりに取り組んでいきます。



自由民主党入間市議団(2)

古仲 リカ

東藤沢4-11-19

☎2966-5931

市民の皆様により添いながら、女性目線で誰一人取り残さない行政づくり、しっかりと取り組んで参ります。

～任期～

令和3年3月30日  
から  
令和7年3月29日  
(4年間)

～定数～

22人



自由民主党入間市議団(2)

内村 忠久

扇台2-5-34

☎2966-1293

皆様からのお声に耳を傾け、謙虚に誠実に、そしてこの街の明るい未来を信じて、走り続けてまいります。



自由民主党入間市議団(3)

松本 義明

宮寺2925-204

☎2934-4308

「みんなでコロナに勝とう！」  
コロナ対策最優先で取り組みます。  
福祉現場経験をまちづくりに活かす。



市民フォーラム(6)

野口 哲次

春日町2-14-7-311

☎2963-0309

誰もが住みよいまちづくりをめざし、市政をチェック・提案してまいります。



自由民主党入間市議団(3)

鈴木 洋明

下藤沢859

☎2962-2429

「子どもが安心して暮らせる街」をさらに進め、「夢のあるまちになるま」づくりに、まい進してまいります。



自由民主党入間市議団(3)

紺野 博哉

東町5-6-10

☎2962-0415

新市長を迎え新たなスタートを切った入間市政。未来に向かって、市民目線での街づくりを目指します。



自由民主党入間市議団(4)

横田 淳一

野田677

☎2932-2502

市民の皆様の声を市政へ反映した安全で・楽しく・美しい街づくりに取り組めます。



自由民主党入間市議団(4)

小島 清人

河原町8-5

フォーラム飛和201

☎2962-5614

汗をかき、市民の皆様の声聞き市政に反映し、人々が住み良く、住んで良かった街づくりをめざします。



自由民主党入間市議団(7)

宮岡 治郎

仏子357-1

☎2932-1166

市民の多様な意見を尊重して参りました。安心な暮らしに柔軟に対応できる、市議会と市政を目指します。

## 会議の様子がご覧いただけるおもな方法

- 傍聴  
市議会の本会議は公開されており、誰でも傍聴できます。当日、市庁舎5階の西側エレベーター前にある傍聴受付で住所・氏名・年齢等を記入のうえ、傍聴券の交付を受け傍聴席へお入りください。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、検温や手指の消毒の実施、常時換気、間隔を空けた傍聴席となっています。
- ケーブルテレビ放映(録画放送)  
議会開催日当日の午後6時から、入間ケーブルテレビ「111チャンネル」で、本会議の様子を録画全面放送しています。
- 会議録  
入間市議会図書室、市役所3階市政情報コーナー、市立図書館本館で会議録が閲覧できます。また、市議会ホームページでも閲覧できます。

# 改選後の初議会

## 第1回臨時会

令和3年3月29日の任期満了に伴う市議会議員一般選挙は、3月14日に投票が行われ、新しく22人の議員が誕生しました。また、改選後の初議会を4月9日に開催しました。

### 就任のあいさつ



議長  
紺野博哉



副議長  
末次 正

4月臨時会において、議長ならびに副議長に就任いたしました。市民の皆様の負託に応えられるよう、公正で公平な議会運営に努めてまいります。新型コロナウイルス感染症の影響から、大変厳しい状況となっておりますが、入間市議会としても、直面する行政課題に積極的に取り組んでいかなければなりません。今後も市民の立場に立って開かれた議会運営を行ってまいりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

### 議会人事

#### 議長に紺野 博哉氏を選出 副議長に末次 正氏を選出

埼玉西部消防組合議会議員  
永澤 美恵子 内村 忠久  
宮岡 治郎

埼玉県都市競艇組合議会議員  
紺野 博哉

入間西部衛生組合議会議員  
佐藤 匡 金澤 秀信  
松本 義明 鈴木 洋明  
横田 淳一 小島 清人

瑞穂斎場組合議会議員  
向口 文恵 長谷川 渉  
古仲 リカ

総務常任委員会  
◎内村 忠久 ○大野 勉  
安道 佳子 向口 文恵  
吉田 賢一 細田 智也  
横田 淳一 宮岡 治郎

都市経済常任委員会  
◎長谷川 渉 ○双木小百合  
佐藤 匡 永澤美恵子  
野口 哲次 鈴木 洋明  
小島 清人

福祉教育常任委員会  
◎古仲 リカ ○池島 司  
小出 亘 末次 正  
金澤 秀信 松本 義明  
紺野 博哉

議会運営委員会  
◎松本 義明 ○向口 文恵  
小出 亘 永澤美恵子  
古仲 リカ 内村 忠久  
鈴木 洋明 小島 清人  
宮岡 治郎

基地対策特別委員会  
◎小島 清人 ○古仲 リカ  
佐藤 匡 末次 正  
向口 文恵 池島 司  
吉田 賢一 大野 勉  
横田 淳一

公共施設最適化検討特別委員会  
◎鈴木 洋明 ○内村 忠久  
安道 佳子 双木小百合  
金澤 秀信 永澤美恵子  
長谷川 渉 松本 義明  
宮岡 治郎

議会広報委員会  
議会図書室運営委員会  
◎宮岡 治郎 ○吉田 賢一  
小出 亘 池島 司  
大野 勉 双木小百合  
細田 智也 金澤 秀信  
内村 忠久

議会防災検討委員会  
小出 亘 末次 正  
細田 智也 内村 忠久  
野口 哲次

◎は委員長 ○は副委員長

### 人事案件

副市長に 濱川 敦氏  
教育長に 中田 一平氏  
監査委員に横田 淳一氏

### 全会一致の議案等

議案等番号	議案等の件名
38	専決処分の承認を求めることについて(入間市税条例及び入間市都市計画税条例の一部を改正する条例)
39	専決処分の承認を求めることについて(令和2年度入間市一般会計補正予算(第13号))
40	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度入間市一般会計補正予算(第2号))
41	入間市副市長の選任について
42	入間市監査委員の選任について
1	基地対策特別委員会の設置について
2	公共施設最適化検討特別委員会の設置について



### いるま市議会だより No.194

表紙/西洋館、旧黒須銀行  
撮影/市民カメラマン  
横山満さん、松浦利勝さん  
編集/議会広報委員会

◎向口 文恵 ○古仲 リカ  
小出 亘 長谷川 渉  
内村 忠久 細田 智也  
小島 清人 野口 哲次  
宮岡 治郎

発行/入間市議会  
インターネットアドレス  
<http://www.city.irusa.saitama.jp/gikai/>

### 6月定例会日程案

- 6月 4日(金) 開会
- 6月10日(木) 総括質疑
- 6月11日(金) 総務常任委員会
- 6月14日(月) 都市経済常任委員会
- 6月15日(火) 福祉教育常任委員会
- 6月17日(木) 一般質問
- 6月18日(金) 一般質問
- 6月21日(月) 一般質問
- 6月25日(金) 閉会

※日程については、変更する場合がありますので、議会事務局へお問い合わせください。

問い合わせ 〒358-8511 埼玉県入間市豊岡一丁目16番1号 (04)2964-1111(議会事務局 内線5112・5113・5114)